

## 2023職場体験感想文コンクール

タイトル	社会をささえる人達は	事務局	202
学校名	酒田市直第二中学校	氏名	齋藤 瑠来

私は瑞穂野木村屋で仕事を体験させていただきました。木村屋は、パンやおかしがおいしいですが、そんなパンやおかしが私達の手元に届くまでの工程にはとてもおもしろかったです。たとえば、パンはひとつずつ袋詰めをしないだけでいい、パンを並べるときは同じような種類のを近くにおいて、お客様が探しやすくなるという工夫がみられます。お客様のことをよく考え、仕事をしているのが伝わってきました。さらに、商品ポップ作りも体験させていただきました。商品ポップは画用紙やポストカードなどを使って作ります。しかし、そのポップ一つで商品の魅力や値段、味などを伝えなくてはならないので、作る時はとても大変でした。店員さんはこれを毎回作っていると思うと、尊敬します。また、立ち作業が多く、足腰が痛くなることもありました。そんな大変な仕事をいつもやっているのに店員さんがお客様に向ける顔は笑顔で光輝かいて見えました。それに加え、表情だけでなく、お客様はどうしたら喜んでもらえるか。どうしたら商品を手にとっていただけるか。と、つねに考えている姿には感服しました。社会人になると考えることややる事も増える中、真剣に仕事に向き合っていることは大変だと思いますが、そのようなことを感じさせる姿はかっこよかったです。店員さんに質問をしてみると、本当にこの仕事が好きで好きなことが伝わってきて、お客様を大切に思っていることがわかって、働いている人ひとりひとりがいかに誇りに思っているかがよくわかりました。

私が将来社会人になって仕事をやる時が来たら、木村屋の皆さんのように、明るくいきいきとした仕事に真剣に向き合える大人になりたいと思いました。そして、店員さんが言うように、苦しい事でも何事もおたくまげでほしい。という言葉のようにまた苦しいと言うのでなく、一度は挑戦してみたいと思います。私はまだ具体的にしてみたい仕事は決まっていませんが、今回の職場体験で学んだ事を生かせるような仕事をしてみたいですね。

木村屋ではおいしいパンやおかしの裏側を体験させていただきました。  
商品が手元が届くまでの工程におどろいたのはもちろんのこと、店員の方々の  
お客様に対する思いや努力でそのようなおいしいパンやおかしが出来ること  
を知りました。私達が何気なく買うようなものにも色んな方々の思いがこ  
めていてと思うと物を買うときの考え方がガラッと変わりました。社会  
は木村屋の皆さんのような方々がこまめに出来ているということをおぼろ  
びに本から生活していきたいです。